

の南九州

第 8 号
平成21年11月5日発行

議会だより

M I N A M I K Y U S H U C I T Y



熱戦が繰り広げられる奉納相撲（大野嶽神社秋の大祭）

学校環境整備など 5億円 補正	 2
出産育児一時金 4万円引き上げ	 4
20年度一般会計決算204億円	 6
いっぱん質問・7人が登壇	 8
市民の声	12

9月定例会は、9月1日から18日までの18日間の会期で開催されました。

補正予算をはじめ、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正など慎重審議の結果、原案どおり可決されました。

南九州市への「飯塚オート場外車券売り場」進出に反対する陳情については不採択となりました。

一般会計の主な補正

一般会計補正予算の主なものは、子育て応援特別手当支給事業費、高規格救急車等購入事業費、小中学校ICT環境整備事業費などで、国の経済危機対策臨時交付金を主な財源として、5億1101万3千円を追加し、補正後の予算総額を208億9403万円としました。

総務費

○市民税等過誤納還付金 **1300万円**

法人市民税過年度分の返還金の増加に伴うものである。

民生費

○温泉センター一般管理費 **770万円**

ふれあいセンターわくわく川辺のガス分離設備などの工事を行う。

〔審査の中で〕

問 市内の温泉センターのガスの検査結果は。

答 わくわく川辺の可燃性天然ガスの濃度は380%LELで、基準値50%LELを大幅に超えている。えい別府温泉センター及びえい中央温泉センターは5%、知覧温泉センターは7.9%でそれぞれ基準値以下である。

○子育て応援特別手当支給事業費 **3722万2千円**

国の経済危機対策に基づき、小学校就学前3年間（平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方）を対象に支給する。

○出生祝金支給関係費 **445万円**

第2子及び第3子以降の出生増加に伴うものである。

衛生費

○不法投棄監視・撤去事業費 **514万9千円**

不法投棄ごみ現場の清掃や監視パトロールなどを実施し、ごみポイ捨ての抑制と環境美化の推進を図る。

〔審査の中で〕

問 回収する箇所数及び選定方法を問う。また、事業は今後どのように取り組むか。

答 10箇所、各支所において、個人で不法投棄ごみの回収ができない箇所を選定した。また、この事業は県緊急雇用創出

事業臨時特例交付金を利用しており、来年度もこの交付金で実施する考えである。事業が採択されない場合は、従来どおり市単独で20万円から40万円程度予算計上し取り組む。



不法投棄ゴミの回収を行う作業員

学校環境整備

農林水産業費

○林道開設事業費

1956万円

額娃町郡地区の林道鳥越線を事業追加するものである。

○川辺やすらぎ館施設整備事業費

150万円

味噌麹の製造機械の老朽化に伴う腐食により、異物混入を招くおそれが

あるため修繕を行う。

～審査の中で～

問 機械の稼働状況と経過年数を問う。

答 通常は2日間で1回の製造であるが、多い時期は3日間で2回製造され、年間170回程度と使用頻度が高い。経過年数は10年である。



味噌麹づくりに励む川辺やすらぎの郷農産加工部の皆さん

商工費

○観光地宣伝促進事業費

178万5千円

新幹線全線開業を控え、関西圏からの誘客推進のため、JR新大阪駅に広告を掲出する。

～審査の中で～

問 掲出期間はどのくらいか。

答 10月から来年2月までの5カ月間である。

問 その後も掲出する考えはないか。

答 掲出箇所がホーム増設工事の関係で2月までとなるため、他の場所では掲出できないか広告代理店に相談している。

土木費

○市道橋りょう維持費

715万円

市道の適正な維持管理を行う。

(知覧地域14箇所・川辺地域10箇所)

○市道維持費

320万5千円

市道維持管理に係る伐



新大阪駅の掲示広告

採作業時の警備員配置による委託料などである。

○県道維持費

200万2千円

国、県道維持管理に係る伐採作業時の警備員配置による委託料である。

～審査の中で～

問 警備員の配置はどのように行ふのか。

答 市道及び国県道の交通量の多い危険箇所において、伐採作業区間の前後に警備員を配置する。

委員会から

伐採作業時の石の飛散により、通行車輛への損傷が2件発生したため、警備員の配置に至ったと考えるが、多額の経費を要することから、事故防止に向け講習会などの実施や、県内他市町の事故防止対策を十分調査し、年度内に警備員を必要としない作業方法を見出すよう要望する。

○地域住宅交付金事業費
1908万5千円
 公共投資臨時交付金事業及び地域住宅交付金事業により、松ヶ浦団地公営住宅の整備・改修を行う。



外壁・屋上防水工事などが行われる松ヶ浦団地公営住宅

消 防 費

○高規格救急車等購入事業費

2788万2千円

川辺分遣所に高規格救急車並びに知覧分遣所に吸引器、人口呼吸器及び資機材を購入する。



更新される川辺分遣所の救急車

〔審査の中で〕

問 救急車の更新は、年次計画に基づいたものか。

答 年数12年、走行距離15万キロメートルをめぐに更新しているが、11年9カ月が経過し、走行距離が16万キロメートルを超えていることから、1年前倒しで更新する。

教 育 費

○学校ICT環境整備事業費

2億4248万9千円

地上デジタル放送移行などに伴い、市内21小学校と5中学校にデジタルテレビ、電子黒板、パソコン及びプリンターなどの整備を行う。また、2幼稚園及び校区公民館などへデジタルテレビを設置する。

※ICT＝情報通信技術

〔審査の中で〕

問 業者選定はどのように考えているか。

答 他市の状況などを把握するとともに、市内業者の育成という観点から、市内業者の選定も考慮して検討したい。

○理科教材設置事業費

2604万1千円

小中学校の新学期指導要領により理科の指導内容の充実を図るため、各種実験器具、人体模型、生物標本などを購入する。

災害復旧費

○災害復旧事業費

370万円

穎娃馬口ヶ迫川の護岸復旧工事を行う。



大雨により崩壊した護岸

特別会計

・国民健康保険事業

1億117万3千円

・後期高齢者医療

208万7千円

・介護保険事業

1億2060万7千円

・簡易水道事業

510万7千円

・農業集落排水事業

61万5千円

土地改良事業



農山漁村活性化 プロジェクト支援交付金 (客土・土地改良施設保全)

- 実施場所
知覧町塩屋・南別府地内
- 事業実施予定期間
平成21年度～26年度
- 事業内容
ほ場34ヘクタールにおいて、
30ヘクタールの土層改良及び
農道2路線690メートルの舗装を実施する。

団体営シラス対策事業

- 実施場所
川辺町野間地内(大田尾地区)
- 事業実施予定期間
平成22年度～26年度
- 事業内容
受益地17.6ヘクタールにおいて、
雨水により道路及び農地
が洗掘、流出していることから
排水路17路線4,320メートル及び
農道4路線の舗装を実施する。



農山漁村活性化 プロジェクト支援交付金 (農業用道路)

- 実施場所
額娃町上別府地内
(安田平地区)
- 事業実施予定期間
平成21年度～24年度
- 事業内容
茶園8.3ヘクタール内の農道
未整備5路線1,420メートル
の農道舗装整備を実施する。

報酬月額102,400円 消費生活相談員を設置

本年6月、消費者安全法が公布され、消費者の消費生活における被害を防止し、その安全を確保するため相談員を設置することに伴い、報酬月額を定めるものです。

業務内容は、消費生活に係る相談や苦情、知識の普及、情報の提供に関することや、消費生活の安定及び向上に関することです。

35万円⇒39万円へ引き上げ

産科医療保障制度と合わせると
42万円になります。

【出産育児一時金】

被保険者が出産したときに支給されるもので、4万円の増額となります。

ただし、この改定は、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産した場合に適用されます。

条例の改正



出産に備え学習する妊婦ら

陳情

不採択

南九州市への「飯塚
オート場外車券売り場」
進出に反対する陳情

提出者 南九州市川辺町

地 平山7009番

地

「住みよい南九州市を考
える会」会長 辰野良夫

7億円の減

一般会計

204億9,071万円

平成20年度一般会計と7特別会計及び水道事業会計決算認定が9月定例会に上程されました。議会では、一般会計決算特別委員会と特別会計決算特別委員会を設置し、歳入歳出決算書及び事務事業別決算説明書に基づき、また、監査委員の決算審査意見書を参考に執行部の出席を求め審査し、いずれの決算も認定しました。

平成20年度一般会計の歳入総額は212億4633万円、歳出総額は204億9071万円で、不納欠損額1069万円、収入未済額15億6465万円となっている。収入未済額の主なものは、国、県補助金の繰越明許に係るものが13億7562万円、市税、保育所負担金、住宅使用料及び給食費負担金などに係る滞納額が1億8902万円であり、税など負担の公平性から厳正な対応をとるよう要望する。

財政運営については、各比率が前年度と比較し若干好転しているが、極めて硬直化した財政運営には変わりなく、今後も行財政改革を進める中で財政比率を抑えることを要望する。

徴収率の向上と
効率的な財政運営を

一般会計決算の概要

(単位：万円)

区 分		20 年 度	内 容
歳 入	市 税	34 億 8,674	市民税など私たちが直接納めるお金
	地 方 交 付 税	87 億 5,222	市町村の均衡を図るため国が交付するお金
	国 県 支 出 金	37 億 7,150	国・県が使用目的を特定し交付するお金
	市 の 借 入 金	18 億 7,167	市が事業のため借り入れるお金
	そ の 他	33 億 6,420	使用料、繰入金、諸収入など
	合 計	212 億 4,633	
歳 出	総 務 費	21 億 5,161	自治会関係費、電算管理、人件費などに使うお金
	民 生 費	53 億 6,350	子どもや老人、障害者など福祉全般の事務・事業に使うお金
	衛 生 費	15 億 7,091	健康管理及び清掃業務などに使うお金
	農 林 水 産 業 費	19 億 1,835	農業、林業、水産業に使うお金
	土 木 費	19 億 9,552	道路や河川、公園整備などに使うお金
	教 育 費	25 億 3,609	教材備品や学校整備などに使うお金
	公 債 費	29 億 5,616	市の借金を返済するお金（元金・利息）
	そ の 他	19 億 9,857	議会、商工、消防、基金積立など
	合 計	204 億 9,071	

借金(市債)と貯金(基金)

(特別会計を除く)

(単位：万円)

区分	平 成 19 年 度		平 成 20 年 度		備 考
	総 額	一人当たり	総 額	一人当たり	
借 金	228億8,277	55	221億8,695	54	過疎対策事業債や臨時地方道整備事業債ほか
貯 金	56億1,337	13	64億1,748	15	積立基金や定額運用基金など

20年度 決算認定

市債残高

特別会計・企業会計

125億6,664万円

特別会計・企業会計決算額

(単位：万円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険事業	62 億 8,004	61 億 662	1 億 7,342
老人保健事業	9 億 3,297	9 億 2,810	487
後期高齢者医療	4 億 9,243	4 億 9,034	209
介護保険事業	39 億 5,208	38 億 3,420	1 億 1,788
簡易水道事業	4 億 9,817	4 億 7,654	2,163
農業集落排水事業	6,827	6,662	165
公共下水道事業	2 億 1,120	2 億 312	808
水道事業			
収 益 的	3 億 4,713	2 億 9,773	—
資 本 的	497	1 億 6,337	—

取組しやすい環境づくりを

国民健康保険事業

特定健診の受診率は、42・8%と県内でも高い受診率となっており、生活習慣病の予防や医療費の抑制につながるものである。

今後も、保健推進員、医療機関と連携して受診しやすい対策を講じ、受診率の向上に努めるよう要望する。

安心・安全な浄水の供給を

簡易水道事業

水道使用料の収入未済額は、134万4千円であり、件数は颯娃町で544件の102人、川辺町で27件の25人である。使用料の滞納対策として、給水停止など実施している地域があるが、早期に全地域統一し徴収率の向上に努めるよう要望する。

水道事業

漏水箇所の修繕を進めた結果、有収率は91.09%で前年度より1.11ポイント増となっている。経営の健全化を図るうえで、今後も漏水箇所が判明したら早急な対応を望む。

水質について、硝酸態窒素の値が高くなってきている水源地も見られることから、市民に安心・安全な水を供給するため、簡易水道事業を含め十分な対策を講じていくよう要望する。



生活習慣病の予防を（健康づくり教室）

市政に問う!

7人が
登壇

いっぱん質問

勝目保育所の名称は

市長／市民から募集する



深町 幸子 議員

名称を募集する。

応募期間は9月28日から11月26日までで、要項、用紙を9月の市報で配布する。

避難支援対策の

進捗状況は

市長／登録者台帳の整備を進める

深町 総務省は、災害時

要援護者の避難支援対策として、平成21年度までをめぐに、市町村において避難支援の取組方針などを策定するよう促進している。近隣市では、平成21年3月31日現在、枕

塗木公園整備の目的は

市長／地域内の交流や憩いの場として活用する



建設中の（仮称）勝目保育所

崎市、指宿市、南さつま市が策定済みである。本市は策定中となっているが、現在の進捗状況を問う。

その他の質問

市長 登録者台帳については、10月中旬に登録申請など

・市総合防災訓練の内容など

東 事業目的と事業費の概要を示せ。

市長 地域住民の活動及び交流の促進を図るため、池の護岸工、遊歩道、駐車場、多目的広場、東屋1棟を整備する。総事業費は、4362万7千

市民の声を

農道整備の方策を示せ！

市長／環境に配慮した整備を図る

竹迫 農業を取り巻く環境は厳しいものがある。そういう中で生産基盤の整備は急務と思う。中でも農道整備は重要である。

今後の農道整備をどのように進める考えか。

市長 農業振興を図る上で生産基盤の整備は重要であり、今後の農道整備は環境に配慮した整備を図っていききたい。



竹迫 毅 議員

竹迫 経済危機対策事業で、空港道路と塩屋地区農地開発幹線道路は、法面の張りコンクリートを2600万円で整備するようになっているが、仮に農道舗装をした場合、どの程度整備できるか。

耕地課長 幅員4メートルで一般的には650メートル、防塵舗装では2600メートル整備できる。

竹迫 草払いを年間50万円で計算すると2600万円を50年以上実施できる。張りコンクリートは、生コン、建設業者は喜ぶと思うが、法面は草払いで対応すべきである。



雑草が繁茂している空港道路



塗木農村公園の完成予定図

円である。

東 周辺の生態系や水質調査結果を示せ。

市長 本格的な調査は、実施していないが、生態系に配慮した計画である。

東 完成後の活用や、維持管理はどうなるか。

市長 塗木などの花まつりと同様に、地域住民のふれあい活動や憩いの場と

して活用し、維持管理は塗木自治会にお願いする予定である。

市道用地取得を図れ

市長／事情に応じた対応を検討する

東 用地交渉の難航などにより、市道に危険箇所が多く見られる。

市長 法面は草払いをして自然に管理するのが一番と思う。自然な形で機

能が保てるよう内部協議をしていきたい。

今後の対処方法を示せ。

市長 協力が得られず未整備のままである。事情に応じた対応を検討し、地権者の協力をお願いしていく。

マリンゾーンの振興策は

市長／関係者と協議し整備を進める



今吉 賢二 議員

今吉 総合計画に、マリ
ンゾーンが位置付けられ
ているが、実施した事業
などと効果を問う。

市長 本市のマリンゾー
ンは、海に面した海岸部
であり風光明媚な景観を
有し、訪れる人に感動を
与えてくれる。漁業の振
興では、漁獲資源の確保
に向けたマダイ、ヒラメ
の稚魚の放流、イカ柴投
入事業など実施してい
る。また本年度は、大川
漁港の浚渫工事も計画し
ている。

今吉 鰯娃娃地域は番所鼻
公園、地引き網もできる
砂浜、瀬平公園など、景
観のすばらしい所があ
る。瀬平公園については、

観光バス用の駐車場、農
産物など販売する施設を
整備する考えはないか。
市長 総合計画が本年度
から本格的にスタートし
ており、着手はこれから
である。今後、関係者と
協議しながら整備を進め
ようと考えている。

生活交通バスを 無料に

市長／全体的に検討する

今吉 65歳以上の生活交
通バス利用者について
は、無料とする考えはな
いか。

市長 今、試行期間であ
り皆さんの御意見を聞き
ながら全体的に検討して
いく。



大野岳からマリンゾーンを望む

川辺火葬場事業の 方向性を示せ

市長／広く意見を聞きながら
取り組む



森田 隆志 議員

森田 川辺火葬場は、老
朽化が進み施設の補修や
改築など検討する時期に
きている。今後、既存施
設の改築か南薩地区衛生
管理組合へ施設使用をお
願いするか、事業の方向
性を示す必要があるが、
どのように取り組む考え
か。

市長 川辺火葬場は、平
成19年度から南薩地区衛

生管理組合へ加入してい
る。

築32年が経過しており
老朽化が著しく、火葬炉
は4、5年で使用できな
くなるおそれがあるが、
可能な限り延命化を図っ
ていきたい。

森田 将来は、南薩地区
衛生管理組合で事業が行
われるか。

市長 市の火葬場が、鰯
娃娃にあるのでそこを利用
したい。

森田 それは、衛生管理
組合を脱退することであ



老朽化が著しい川辺火葬場

り、行政改革に逆行する
ことになる。鰯娃娃の施設
を含めた管理組合を目指
すべきである。

川辺火葬場は組合に加
入しており、地区民が納
得するよう十分議論をす
る必要がある。

市長 大事なことである
ので、慎重にいろいろな
人の意見を聞きながら取
り組んでいきたい。

その他の質問

・住宅政策

農商工連携への取り組みは

市長／側面から支援し、地域活性化に努める



蔵元 慎一 議員

蔵元 国では昨年、農商工等連携促進法を施行し、地域経済の活性化に支援策を示しているが、市はどのように取り組む考えか。

市長 農業は農産物などの価格低迷、生産資材の高騰など厳しい経営環境であるが、農商工の三者が、お互いの技術やノウハウを持って連携するこ

とは非常に難しい。今後は、農商工連携の制度について広く周知し、利便な補助制度や融資制度を活用できるように、市も側面から支援し、地域の活性化に努める。

産学官連携でソフト的分野の高揚を
市長／関係機関と連携し、進めていく

蔵元 市の基幹作物であるお茶が低迷している



産学官連携が求められている茶産業

が、今後、品質管理、流通、高付加価値商品の開発など専門的研究が重要と考える。産学官連携を推進し、ソフト的分野を高めていく考えはないか。

市長 学術的には、お茶の効能など研究が進んでいるが、生産現場で活かされていない。今後、産学官連携を進め、消費者のニーズを十分把握し、関係機関と連携して農家所得の向上に努めたい。



菊永 忠行 議員

菊永 市道の草払い、軽微な舗装補修、側溝清掃などの維持管理を市職員、臨時職員合わせて35人で行っているが、維持管理は十分と考えるか。また、作業中の事故防止策を示せ。

市長 21年度からは、草払いを中心に、軽微な舗装補修、側溝清掃などの維持管理を市道延長を踏まえて35人の作業員を配置したが、地域の要望に必ずしも応え切れない状況である。

今後は、さらに効率的な維持管理の方策・体制について、検討を行っていく。

事故防止策として、作業中看板の適正箇所への配置やスコッチコーンによる作業範囲の囲い込みなど事故防止に対する意識の喚起と、班長による

市道・農道の維持管理対策を示せ

市長／効率的な方策・体制を検討する

監視体制を強化し、防護ネットを併用して作業を行う。

また、交通量の多い国道、県道、市道については、通行車や作業員の安全に配慮し、専門の交通警備員を配置していく。

農道については、合併時に維持管理方法を統一

し、基本的に受益者において、基本的な砂利や生コンなどの原材料については、市が支給している。

受益者でできない箇所については、市が事業委託や市単独工事などで対応していく。



市道の草払いを行う作業員

市の民の声



川辺町 平山
中礼 豊子

一商工会員として

南九州市が誕生してまもなく2年が経とうとしています。商売がら合併に伴い色々な仕事をさせて頂きました。私の家は、印鑑・ゴム印・印刷の仕事をしています。南九州市からも色々な見積りを頂きましたが、実際は厳しいものでした。

印鑑などについては、南薩4市で南薩印章業組合を作り、品質・技術向上を図るための研修などを行っています。食でも地産地消、安全で安心な食物が求められています。

ますが、印材に関しても同じです。今は、輸入材や柔らかい材料が出回り、安い価格で卸されていますが、南九州市には全国的に有名な『薩摩柘』が頼娃町で作られています。南九州市の公印はその『薩摩柘』で彫られていると信じています。

先日の南日本新聞に「かごしま繁盛塾」が鹿児島市の主催で始まったという記事がありました。商売に役立つ、お客様のニーズに合わせた具体的な講座の様子に、南九州市でもこのような講座があればと思いました。現在、商工会でも合併協議会が発足し、来年4月の合併を目指し協議がなされています。一商工会員として、商店街が活性化するように十分に協議し、3町商工会がひとつになり、ますます発展することを切望します。



知覧町 松山
松山 常盛

池田湖の水に感謝

南薩土地改良区は、畑作営農の基盤づくりに創設以来35年を経過しております。薩摩半島南部は緑豊かな食料基地としての役割が大きく農作物の生産量・生産額とも年々上昇しております。

しかしながら、相場変動の影響は大きく、また、配水施設の老朽化が進んでおり漏水事故が多発傾向にあります。

池田湖の水は、周辺地域の「命の水」であり、畑地かんがい用水として、受益者面積5850

ヘクタールを潤しておりますが、年によつては、異常気象で貯水量が心配されます。

土地改良区は、昨年度から後継者対策として、関係地区の小学3、4年生を対象に池田湖の水利用に関する出前授業を行うなど更に充実した事業に取り組んでおります。

賊課金の未納、滞納対策も地区行政機関と連携して、協議会を開催し、未納者への納入啓発を進めるとともに、受益者自身の自覚高揚を期待しております。

景勝地としての池田湖の水利用に感謝しつつ、将来に向かって豊かな郷土づくりに邁進したいものです。



“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**11月30日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

編集後記

朝夕めっきり冷え込み深みゆく秋の訪れを感じる季節となりました。

茶農家にとりましては春先の低温障害で茶の品質に影響を与え、生産量の減少や低価格での推移となり厳しい現状でした。そのような中、全国茶品評会普通煎茶30キロ

の部で今年も産地賞、農林水産大臣賞を受賞されたことは、茶農家の努力の賜物と大変うれしく思います。

今後南九州市のお茶を全国に広め、さらなる飛躍を願っています。
(峯苦 勝範)

広報編集委員会より

私たち議会広報編集委員会は、南九州市議会の発足に伴い、6人の委員で編集・発行作業を行ってきました。

2年間の役目も今回をもって終わりとなり、12月議会報(9号)からは、新しい委員での発行となります。

今後とも市民の皆様方の記事投稿や、御愛読をよろしく願います。

▼広報編集委員会

委員長 森田 隆志
副委員長 峯苦 勝範
委員 竹迫 毅
菊永 忠行
田畑浩一郎
山下つきみ